



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年8月5日

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所 上場取引所 東
 コード番号 6495 URL <http://www.miyairi-valve.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)平綿 孝之
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)市川 浩 TEL (03)3535-5572
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績 (平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,383	29.9	67	9.6	64	6.9	48	△9.3
22年3月期第1四半期	1,065	3.4	61	294.0	60	60.5	53	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	1	02	0	91
22年3月期第1四半期	1	12	1	01

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第1四半期	6,942		2,860		41.2	59	83	
22年3月期	6,961		2,816		40.5	58	93	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 2,860百万円 22年3月期 2,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
22年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
23年3月期	—				
23年3月期(予想)		0 00	—	0 00	0 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	2,800	25.9	140	△4.7	130	△8.8	120	△10.8	2	51
通期	6,300	26.0	500	20.1	480	14.9	460	△6.0	9	62

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	48,849,935株	22年3月期	48,849,935株
23年3月期1Q	1,047,627株	22年3月期	1,047,626株
23年3月期1Q	47,802,309株	22年3月期1Q	47,802,389株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注意事項)

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第1四半期累計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、アジア諸国など新興国の経済成長や政府の経済対策の効果により、一部で景気回復の兆し見られたものの、依然として設備投資の抑制、厳しい雇用・所得環境の悪化による内需の停滞が続いており、デフレや円高に加え、欧州発の金融危機といった新たな不安要素の影響も懸念されるなど、景気の自律回復には未だ先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社におきましては、設備投資抑制等の影響があるものの主力製品であります液化石油ガス容器用弁の売上が堅調に推移したことおよび生産増加に伴う主要原材料である黄銅材の屑売上高が増加したことにより、売上高は1,383百万円(前年同期比29.9%増)となりました。

収益面につきましては、主要原材料である黄銅材の購入価格が前年同期と比較して上昇したことから収益性は悪化(売上利益率対前年同期比3.1ポイント下落)しましたが、前年同期の約3割増の売上高を計上したことにより、営業利益は67百万円(前年同期比9.6%増)、経常利益は64百万円(前年同期比6.9%増)、四半期純利益は48百万円(前年同期比9.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、ほぼ同額の3,450百万円となりました。これは主に、割引手形の増加に伴う受取手形及び売掛金の減少172百万円および容器弁増産によるたな卸資産の増加166百万円によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて、18百万円減少して3,492百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減少13百万円および投資有価証券の減少7百万円によるものです。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて、19百万円減少して6,942百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて、60百万円減少して1,342百万円となりました。これは主に、原材料の支払い増加による支払手形及び買掛金の減少46百万円および1年内返済予定の長期借入金ならびに1年内償還予定の社債の減少45百万円によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて、1百万円減少して2,739百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少22百万円および年金資産減少に伴う退職給付引当金の増加21百万円によるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、62百万円減少して4,082百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、43百万円増加して2,860百万円となりました。これは主に、利益剰余金が四半期純利益により48百万円増加したためです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の40.5%から41.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前事業年度末に比べて、17百万円増加し、748百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は104百万円となりました。これは主に、割引手形の増加112百万円によるためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は19百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出13百万円によるためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は67百万円となりました。これは主に、社債の償還による支出30百万円および長期借入金の返済による支出37百万円により減少したためです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成22年5月14日発表の「平成22年3月期決算短信(非連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

1) 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3) 繰延税金資産の算定方法

当第1四半期会計期間末の繰延税金資産の回収可能性に関しては、前事業年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益および税引前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,133,439	1,110,307
受取手形及び売掛金	1,298,516	1,471,245
商品及び製品	637,358	543,567
仕掛品	73,768	63,982
原材料及び貯蔵品	367,274	304,807
その他	108,996	125,643
貸倒引当金	△169,038	△169,038
流動資産合計	3,450,316	3,450,515
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	157,060	161,504
構築物(純額)	33,719	34,908
機械及び装置(純額)	242,235	253,732
車両運搬具(純額)	2,133	852
工具、器具及び備品(純額)	26,357	21,653
土地	2,506,900	2,506,900
建設仮勘定	—	2,677
有形固定資産合計	2,968,406	2,982,228
無形固定資産		
電話加入権	2,810	2,810
その他	59,471	56,704
無形固定資産合計	62,281	59,514
投資その他の資産		
投資有価証券	164,179	171,980
長期貸付金	3,575,000	3,575,000
その他	287,518	299,167
貸倒引当金	△3,565,380	△3,577,055
投資その他の資産合計	461,318	469,092
固定資産合計	3,492,006	3,510,835
資産合計	6,942,322	6,961,351

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	679,902	725,941
1年内返済予定の長期借入金	124,508	139,508
1年内償還予定の社債	110,000	140,000
未払法人税等	6,897	17,737
賞与引当金	115,540	80,820
製品保証引当金	24,026	25,000
その他	281,518	273,875
流動負債合計	1,342,392	1,402,882
固定負債		
社債	100,000	100,000
新株予約権付社債	800,000	800,000
長期借入金	296,658	319,035
再評価に係る繰延税金負債	967,404	967,404
退職給付引当金	555,159	534,155
環境対策引当金	2,600	—
その他	18,068	20,881
固定負債合計	2,739,891	2,741,476
負債合計	4,082,283	4,144,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,507,423	3,507,423
資本剰余金	1,549,401	1,549,401
利益剰余金	△3,514,496	△3,563,034
自己株式	△157,210	△157,210
株主資本合計	1,385,117	1,336,579
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,813	29,305
土地再評価差額金	1,451,107	1,451,107
評価・換算差額等合計	1,474,921	1,480,413
純資産合計	2,860,038	2,816,992
負債純資産合計	6,942,322	6,961,351

(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,065,395	1,383,601
売上原価	810,193	1,095,772
売上総利益	255,202	287,829
販売費及び一般管理費	193,276	219,965
営業利益	61,925	67,864
営業外収益		
受取利息	552	138
受取配当金	403	160
有価証券運用益	12,015	—
不動産賃借料	—	1,113
スクラップ売却益	—	1,986
その他	3,643	1,385
営業外収益合計	16,615	4,784
営業外費用		
支払利息	1,482	2,437
社債利息	818	513
手形売却損	3,951	4,277
デリバティブ評価損	5,458	—
訴訟関連費用	5,000	—
その他	1,177	564
営業外費用合計	17,888	7,792
経常利益	60,652	64,855
特別利益		
投資有価証券売却益	25,666	—
貸倒引当金戻入額	—	895
特別利益合計	25,666	895
特別損失		
環境対策引当金繰入額	—	2,600
役員退職慰労金	29,812	11,616
特別損失合計	29,812	14,216
税引前四半期純利益	56,506	51,533
法人税、住民税及び事業税	3,005	2,995
法人税等合計	3,005	2,995
四半期純利益	53,501	48,538

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	56,506	51,533
減価償却費	26,494	26,459
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△11,675
賞与引当金の増減額(△は減少)	42,371	34,720
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△28,941	21,004
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	△973
受取利息及び受取配当金	△955	△298
支払利息	2,301	2,950
有価証券運用損益(△は益)	△12,015	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△25,666	—
売上債権の増減額(△は増加)	246,039	59,600
たな卸資産の増減額(△は増加)	23,559	△166,044
仕入債務の増減額(△は減少)	20,300	△46,038
未払金の増減額(△は減少)	53,489	30,032
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,083	△16,135
割引手形の増減額(△は減少)	74,884	112,126
その他	7,977	21,596
小計	484,261	118,857
利息及び配当金の受取額	748	164
利息の支払額	△2,008	△2,727
法人税等の支払額	△11,982	△12,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	471,019	104,272
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	19,134	—
有形固定資産の取得による支出	△46,713	△13,473
無形固定資産の取得による支出	△5,450	△189
投資有価証券の取得による支出	△92	△83
投資有価証券の売却による収入	102,666	—
定期預金の増減額(△は増加)	△6,000	△6,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	63,544	△19,745
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△28,590	△37,377
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
自己株式の取得による支出	—	△0
自己新株予約権の取得による支出	△16,000	—
配当金の支払額	△138	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,728	△67,394
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	459,835	17,132
現金及び現金同等物の期首残高	96,680	731,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	556,515	748,210

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社の主たる事業は、高圧ガス用バルブおよび関連機器類の製造、販売等の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期累計期間の生産実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類等	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
容器用弁	696,913	48.1
LPG用弁類・機器	493,692	14.3
その他弁類・機器	80,406	122.9
その他	4,155	127.4
合計	1,275,168	35.6

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第1四半期累計期間の受注実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類等	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
容器用弁	598,878	25.3	31,334	140.7
LPG用弁類・機器	515,162	19.2	337,205	△17.8
その他弁類・機器	84,145	31.9	111,963	27.5
その他	39,885	16.0	4,343	△64.4
合計	1,238,072	22.7	484,847	△3.8
(うち輸出高)	91,022	520.7	76,409	93.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期累計期間の販売実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類等	販売実績(千円)	前年同四半期比(%)
容器用弁	583,936	24.3
LPG用弁類・機器	485,479	11.2
その他弁類・機器	88,892	143.0
その他	38,979	10.5
屑売上高	186,313	114.5
合計	1,383,601	29.9
(うち輸出高)	67,052	136.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。